

# まほろば



2013.1  
第137号

## 「兼愛」



新年あけましておめでとうございます。世界中を低迷と混乱が覆っていますが、今年こそ上昇と安定に転じて欲しいものです。

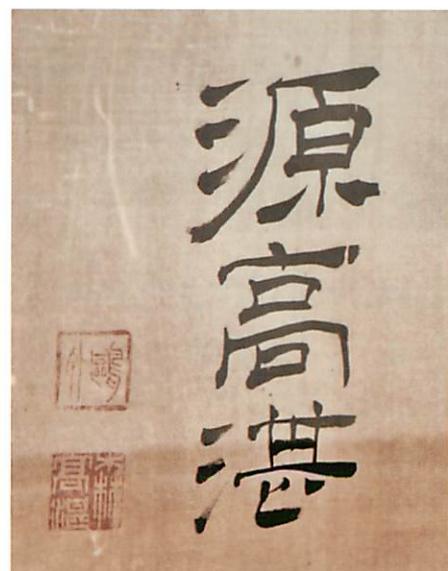
さて、今回はお正月にふさわしい話題について書いてみましょう。

弘前病院の応接室に一幅の書が掲示されています。隸書体で「兼愛」の二文字が書かれ、「源高湛」の名が記されています。

これだけでは誰の書かよく分かりませんが、その横に「鷗外」の印が押されています。そう、明治・大正の文豪、森鷗外です。鷗外の父・静泰（後に静男）は代々津和野藩藩医である森家の婿養子になっていますが、旧姓が源です。そして「源高湛（たかやす）」は鷗外の「諱（いみな）」といわれるものです。

この書は大正3年に陸軍軍医総監の鷗外が東北・北海道の衛戍病院巡視で弘前を訪れた5月15日に書かれたものようです。

「兼愛」とは中国戦国時代に思想家集団の墨家が唱えた主張の一つで、「親疎の区別を考慮しない愛、すなわち自分を愛するように他の家族、他の国を愛する」との意味であり、病院にふさわしい言葉ではないでしょうか。実物を御覧になりたい方は弘前病院にお話し下さい。 院長：佐藤 年信



# 新しい年に -2013年巳年-



平成25年（2013年）、今年の干支は「巳」。

昨年の「辰」から今年の「巳」へ干支が変わることにあたり、ぴったりな駅名を持つ「辰巳駅（東京メトロ・有楽町線）」では、干支をデザインした記念撮影ボードや記念スタンプが年末年始限定で用意されたそうです。

さて、「巳」というこの文字、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から目覚めて地上に這い

出る姿を表しているとも言い、「起くる」「始まる」等の意味があります。

また、「巳」＝「蛇」は、脱皮をすることから「再生・復活」をイメージさせ、過酷な環境でも長生きすることから神の使いとされてきました。七福神の「弁財天」は蓄財と芸能の神ですが、蛇の姿をした神として奉られることも多いようです。

今年「巳年」の一代様（自分の生まれ年の干支を守り神とする、藩政時代から続く津軽地方の信仰）は、弘前市の愛宕様「愛宕山橋雲寺」です。奉られている普賢菩薩は、仏の理性を現し、特に慈悲を司る仏とされ、延命の徳を持つといいます。今年一年、皆様にとってますます良い年になりますように。

地域医療連携係：工藤 真淑

## メンタルヘルス研修伝達



国立病院機構本部主催平成24年度メンタルヘルス研修に参加し、研修の伝達を12月21日に開催させていただきました。

この研修は「心の健康づくり計画」の推進を図る基礎知識を習得し、快適な職場づくりのポイントを水平展開を図ることを目的に行われました。

現在心の健康問題を有する労働者は増加傾向にあり、最も多い疾患はうつ病で、30歳代、次が40歳代に多いと言われています。

1ヶ月以上の休業者は74.8%の企業で存在する現状です。また、日本の自殺者も1998年から急増し、毎年3万人を超える数と言われています。

私達管理監督者は、このような現状を踏まえ、メンタルヘルスの不調は全ての人がなる可能性があり、個人の問題だけでなく、職場というシステムの問題として捉える必要があり、役割としては  
1. 従業員の相談対応  
2. 職場環境等の改善  
3. 労働時間の管理が必要な事を学んで來ました。

今回の研修を参考に職員の声に一層耳を傾け快適な職場作りに取り組んでいきたいと思います。

4階病棟看護師長：藤田 裕美

# クリスマス コンサート

12月といえば宗旨に関係なく（？）クリスマスムードが高まってきます。

当院では今回初めてクリスマスコンサートを開催しました。

歌っていただいたのは、弘前大学アカペラサークル「VEL」の皆さんです。

会場となった機能訓練室には多くの患者さんやご家族の方が来てくれました。

キャンドルをもって登場した、5名の学生の方が聞かせてくれた曲目は

「きよしこの夜」

「赤鼻のトナカイ」

「東京ブギウギ」

「津軽海峡冬景色」 他です。



途中、サンタクロースも登場し、ちょっと恥ずかしそうに踊りながら、患者さん達の間に入り、握手をしてくれていました。

最後にはアンコールのコールと共に「ふるさと」を会場の全員で歌い、終わりましたが、「ふるさと」を歌いながら、目頭を熱くしていた方もいらっしゃいました。

せっかくのクリスマスを病院で過ごさなければならない方もいらっしゃいますがクリスマス気分を少しでも味わっていただけたら…と思っています。

副看護部長：網谷 実千枝



## ～「消防訓練」～

12月3日に今年度2回目となる消防訓練を行いました。今回は前回と異なり、病棟での夜間想定での訓練です。「通報伝達」「初期消火」「避難誘導」等その目的は日中の場合と同様でも、その対応は限られた人数で対応しなければならないため、大きく変わってきます。応援で駆けつける職員もいますが、基本的には出火時点で勤務している職員で、患者様の避難を行わなければなりません。当日は看護学校の学生を模擬患者に見立て

て、深夜勤務の職員、当直の職員、病院宿舎からの応援者で訓練に当たりました。

私たち医療に携わる者として、患者様の生命と安全を守る事は、第一に考えなければいけない事であり、このような訓練の繰り返しと検証を行うことで、万一の災害の際にも迅速に対応することができるよう、日頃から心掛けるようにしてもらいたいと思います。

庶務班長：佐藤 博之



# クリスマスおゆうぎ会

12月16日（日）院内風の子保育園のホールで「クリスマスおゆうぎ会」を行いました。19名の園児がうた、げき、ゆうぎと日頃の頑張りを発表しました。

初舞台でも最後まで泣かずに「ドキドキドーキドキ」と体を動かしてOKポーズをきめた、1～2歳の男の子。カンカン帽子にふりふりのスカートで「チャールストン」を踊って笑顔でなげキッスをしたかわいい1～2歳の女の子のたんぽぽ・ちゅうりっぷ組。

NHKでおなじみの「勇気100%」を忍者姿で、子どもたちの好きな「そんなの関係ネエ」のポーズやでんぐり返しをダンスの中に入れて、元気いっぱい張り切って踊った3～4歳のばら組。

ももいろクローバーZになりきっての、激しいダンス「みてみてこっちっ」を全力で踊りきった5歳のひまわり組。

扇子を持ち、凛々しい袴姿を見せ、会場を和の空気に包んだ「龍馬伝」の6歳のゆり組。

今年のゆり・ひまわり組一緒にダンスは、レンゲンの廃材アルミ袋で作った、ギラギラのロングジャケットの衣装で、幕が開くと、アイドルグループ嵐に負けないくらいのかっこよさに、「わあー」「かっこいい」と、歓声があがり、「ワイルド・アット・ハート」を自信に満ち溢れて踊っていました。



最後に、一足早いサンタクロースが登場。「おゆうぎとてもじょうずでした」と、プレゼントをもらい、サンタクロースとの愉快な会話に子どもたちは大喜びでした。

みなさん、たくさんの拍手、ありがとうございました。

お疲れ様でした。

風の子保育園 園長：諏訪 栄子



# ATV「テレビ診察室」に出演して

昨年12月15日（土）に、ATV「テレビ診察室」に出演しました。最初で最後のテレビ出演でしょう。

テーマは「胎児心臓スクリーニング」にしました。私は小児循環器専門医で、重症の先天性心奇形の早期発見・早期治療について強い関心を抱いてきました。つい10年ほど前まで、出生後にショック状態で緊急搬送され、時には心臓外科医の手に委ねる前に力尽きてしまう赤ちゃんを目の当たりにしてきました。「胎児心臓スクリーニング」は、そうした赤ちゃんを胎児期に超音波診断して、出生後速やかに治療のレールに乗せて救命することを目的にしています。周産期医療に関する医療従事者の関心という点で日本は欧米によく20年遅れ、本当にごく最近になって急速に普及しているところです。

私は、2008年5月から、当時小児科のスタッフだった佐藤啓先生と二人で始めました。途中から私一人となりましたが、何とか月に30～40人ほどの妊婦さん（胎児）を検査させていただいています。検査件数は1,500件を超え、産婦人科の先生方や助産師の方々の理解と協力がなくては到底継続できませんでした。胎児診断された子が出生後に無事治療を終え、元気に私の外来に顔を出してくれた、まさに2度目の出会いの時、「一人で苦しいけど、やってきて本当に良かった。」と心ふるえる思いでその親子を見つめています。

テレビ診察の収録後、ATVの撮影スタッフの方々と、そして、あのきれいな千葉アナウンサーから、「非常に新鮮で大変勉強になりました。」とおっしゃっていただきました。

放送のあとで、結構多くの方々から「先生見ましたよ。」と声を掛けられましたので、県民の皆さんにも多少は宣伝になったかなと期待しています。テレビ出演の機会を与えてくださった、私の恩師である弘前大学医学部小児科准教授、ATVスタッフの方々、「顔出しOK」で実演に協力していただいた妊婦さん、そばに居てくださった助産師さん皆さんに感謝します。ありがとうございました。

小児科医師：佐藤 啓



# 外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2013年1月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之 下山亜矢子	山本勝丸 下山亜矢子	中川英之 下山亜矢子	山本勝丸 下山亜矢子	中川英之 下山亜矢子
消化器・血液内科		間山恒 松木明彦 佐藤年信 石黒陽	— 五十嵐崇徳 佐藤年信 石黒陽	— 五十嵐崇徳 佐藤年信 —	間山恒 — 松木明彦 石黒陽	間山恒 五十嵐崇徳 佐藤年信 石黒陽
小児科		三上珠希 杉本和彦 伊東竜也	野村由美子 佐藤工 千葉友揮	杉本和彦 三上珠希 —	野村由美子 佐藤工 千葉友揮	野村由美子 杉本和彦 伊東竜也
外科		田澤俊幸	高橋克郎	田澤俊幸	高橋克郎	三上勝也
乳腺外来		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	—	小田桐弘毅
整形外科	午前	柿崎寛 黒瀬理恵 八重垣誠	柿崎寛 黒瀬理恵 弘大医師	秋元博之 黒瀬理恵 八重垣誠	秋元博之 千葉紀之 —	柿崎寛 八重垣誠 秋元博之
脳神経外科	午後	—	—	—	—	柿崎寛
皮膚科	午前	熊野高行 佐藤正憲	佐藤正憲 熊野高行	佐藤正憲 熊野高行	熊野高行 佐藤正憲	熊野高行 佐藤正憲
泌尿器科	午後	●予約	●手術／検査	●予約	●手術／検査	●予約
産婦人科	午前	神村典孝 木村秀崇	神村典孝 尾崎浩士	神村典孝 鈴木洋一郎	神村典孝 ●妊婦健診	神村典孝 尾崎浩士
眼科		小林麻美	鈴木洋一郎	木村秀崇	(一般外来休診)	小林麻美
耳鼻咽喉科		蒔苗順義 黒田令子 二井一則	蒔苗順義 黒田令子 二井一則	蒔苗順義 ●手術 (一般外来休診)	蒔苗順義 黒田令子 二井一則	蒔苗順義 黒田令子 二井一則
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来			杉本菜穂子(※予約制／第1・第3火曜日午後診療)			
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

## 今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

柿の木々 肩にふんわり まわた雪

(乙女の像)

愛犬に 術後のリハビリ お供させ

(ハッコちゃん)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

### 患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

### お知らせ

#### 編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘また、お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital  
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 柿崎 寛

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>